

自分たちでできること、みんなを始めよう

ちょうみん グリーンアクション



平成28年4月

岩手県金ヶ崎町

目 次

第1章	基本的な考え方	1
1	グリーンアクションとは	1
2	グリーンアクションが必要である理由	1
3	グリーンアクション実践期間	3
4	グリーンアクションの性格	3
第2章	金ヶ崎町の環境現状	4
1	二酸化炭素排出量	4
2	ごみの排出状況	4
3	生物多様性の状況	8
4	再生可能エネルギー導入状況	10
第3章	グリーンアクションのめざす姿	11
第4章	5つのグリーンアクション	12
第5章	各主体によるグリーンアクション	14
	～町民編～	14
	～事業者編～	16
	～役場編～	17
第6章	「ちょうみんグリーンアクションの日」	19
第7章	ちょうみんグリーンアクション取組の公表	19

第1章 基本的な考え方

1 グリーンアクションとは

私たちが住んでいる金ヶ崎町、日本そして地球全体の環境の保全を意識した「環境にやさしい行動」であり、皆さんの自発的な行動を指します。法令※1などの定めに基づいて義務的に行われる行動は、含まれません。

2 グリーンアクションが必要である理由

金ヶ崎町は、水と緑に恵まれた自然環境豊かな町です。この恵み豊かな自然を守り、育て、そして将来に継承していくことは、まちづくりの重要な課題です。

町では環境行政施策を推進するには、役場自らが環境保全活動を率先して行うべきであるとの認識から、平成11年2月、環境管理の国際規格であるISO14001を認証取得しました。その後、職員の環境への意識と省エネなどの取組が定着したことや費用の面から、平成20年2月、ISO14001の規格に則り運用していくことの「自己適合」を宣言し、外部監査を経るなどして現在の運用に至っています。

これまでも、町民や事業者の皆様には各々、それぞれの立場で環境に配慮したさまざまな取組をしていただいているところです。

しかしながら、近年、かつて経験したことのないような気候の変化に直面しています。夏場の連日の猛暑や冬の寒波、ゲリラ豪雨、さらには竜巻の発生など異常気象が発生し、人間の生命や財産に甚大な被害をもたらし、生物が絶滅の危険にさらされているのが現状です。

そして、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）※2の2014年報告書によると、「わたしたち人間の活動が温暖化の要因である可能性が極めて高い（95%以上）」との報告がなされました。地球温暖化が進んでいることは、もはや疑う余地がありません。

※1 法令の例・・・大気汚染防止法、水質汚濁防止法

わたしたちが生活や経済活動で環境に与える影響をゼロにすることはできませんが、できるだけ少なくすることはできます。一人ひとりが意識し、身の周りの生活や暮らしを環境にやさしいものに変えていかなければなりません。

ここに、指針を示し、町民一人ひとり、事業者、役場などの各主体が、共通の認識を持ち、効果的に環境にやさしい行動を実践していくものです。

※2 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）

昭和63（1988）年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）により設立された、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価等を行う国連の組織。

3 グリーンアクション実践期間

2016年（平成28年）4月 ～ 2026年（平成38年）3月

温室効果ガス※3削減目標年を10年後の2025年を区切りとし、削減目標を目指して実践していきます。

※3 温室効果ガス

ガスの種類	人為的な発生源
二酸化炭素(CO ₂)	産業、民生、運輸部門などにおける燃料の燃焼に伴うものが全温室効果ガスの9割程度を占め、温暖化への影響が大きい。
メタン(CH ₄)	稲作、家畜の腸内発酵などの農業部門から出るのが半分以上を占め、埋立てされた廃棄物から出るものは2～3割を占める。
一酸化二窒素(N ₂ O)	燃料の燃焼に伴うものや農業部門からの排出がそれぞれ3～4割を占める。
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	エアゾール製品の噴射剤、カーエアコンや断熱発泡剤などに使用。
パーフルオロカーボン類(PFCs)	半導体等製造用や電子部品などの不活性液体などとして使用。
六フッ化硫黄(SF ₆)	変電設備に封入される電気絶縁ガスや半導体等製造用などとして使用。
三ふっ化窒素(NF ₃)	半導体や液晶製造時のドライエッチング等に使用。

4 グリーンアクションの性格

ガマンしながら必死にがんばるのではなく、心地がよいと感じ、楽しみながら、実践してみましよう。

現在、低炭素社会※4を実現するための技術や取組みが地域・団体・企業の中で、生まれてきています。

ひとりでもできるグリーンアクションをみんなで実践してみましよう。やがては、ひとりひとりのアクションが大きな動きとなり、かねがさきから発信され、広がっていく・・・、そのようなことをイメージしながら、ライフスタイルとなっていくことができたらいいですね・・・。

※4 低炭素社会

地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が少ない社会のこと。

第2章 金ヶ崎町の環境現状

1 二酸化炭素排出量

(単位:千トンCO₂)

部 門	金ヶ崎町 (平成 25 年度)		岩手県 (平成 24 年度)	
	種 別	排出量	排出量	
産業部門	製造業	598	3,778	
	建設業・鉱業	3		
	農林水産業	20		
	小計	621		
家庭部門		27	2,107	
業務部門		7	1,441	
運輸部門	自動車	旅客	10	2,597
		貨物	7	
	鉄道	1		
	小計	18		
廃棄物部門		3	340	
合計		676	10,263	

2 ごみの排出状況

平成25年度の金ヶ崎町の生活系※5と事業系※6を合わせたごみの排出量※7は、4千3百t（小学校25mプールの10杯分相当）となっています。

岩手県全体では、45万3千t（東京ドームの容積125万m³の1.2杯分に相当）です。

※5 生活系・・・家庭

※6 事業系・・・事業所

※7 排出量・・・町で回収及び胆江地区衛生センターに搬入された量

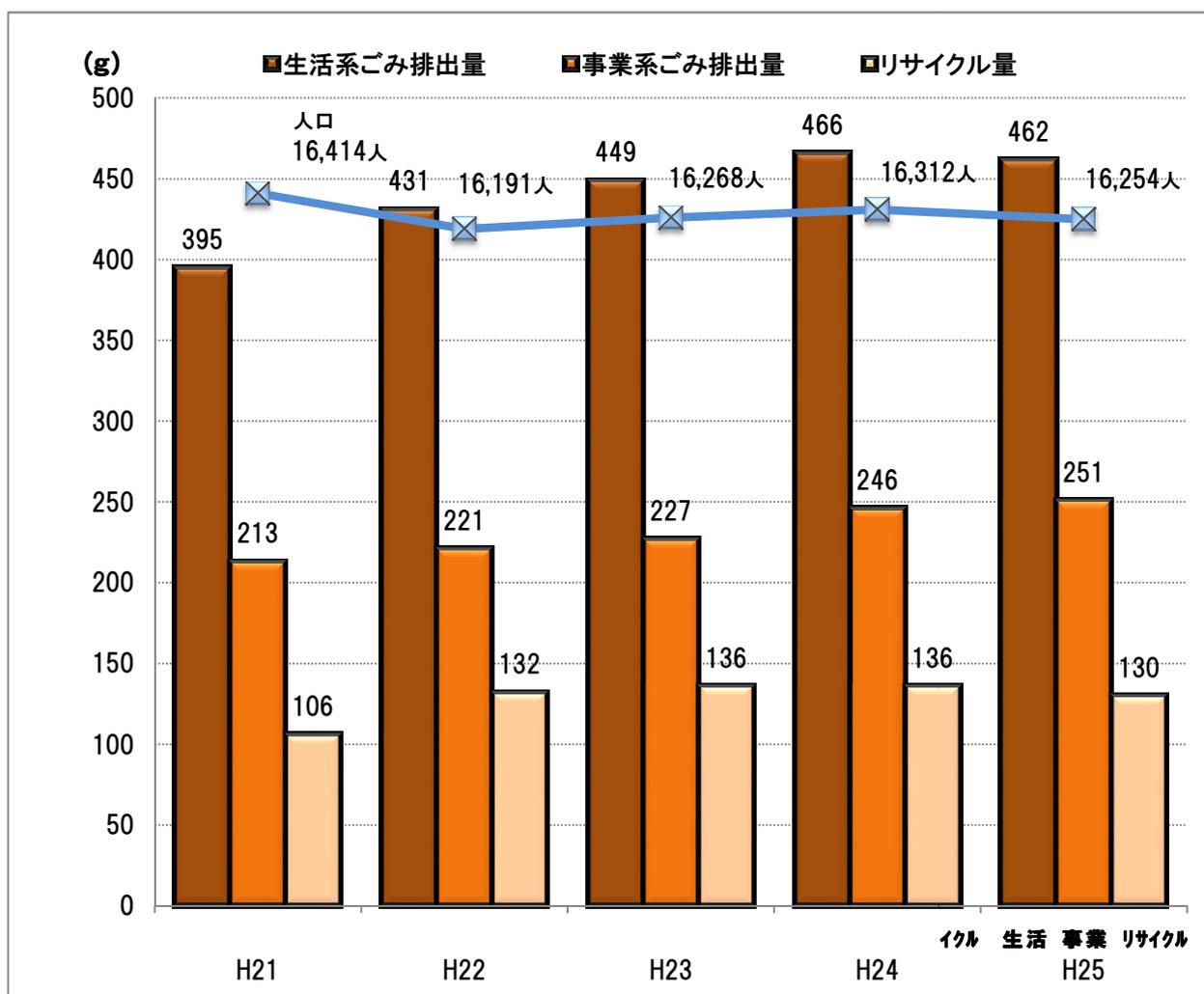
また、金ヶ崎町の1人1日あたりのごみ排出量は713gであり、県全体の平均排出量945gより少なくなっています。これは、県内33市町村のうち、6番めに少ない排出量となっています。

しかしながら、近年5カ年の金ヶ崎町のごみ排出量は、増加傾向にあり、リサイクル量は、減少傾向にあります。

このような状況から、町民の皆様には、日常生活のひとつとしてリサイクルをしていただいているところですが、ごみとリサイクルの分け方・出し方などについて、リサイクル処理業務に支障がない可能な限り、簡単で、わかりやすい見直しが必要であると認識しているところです。

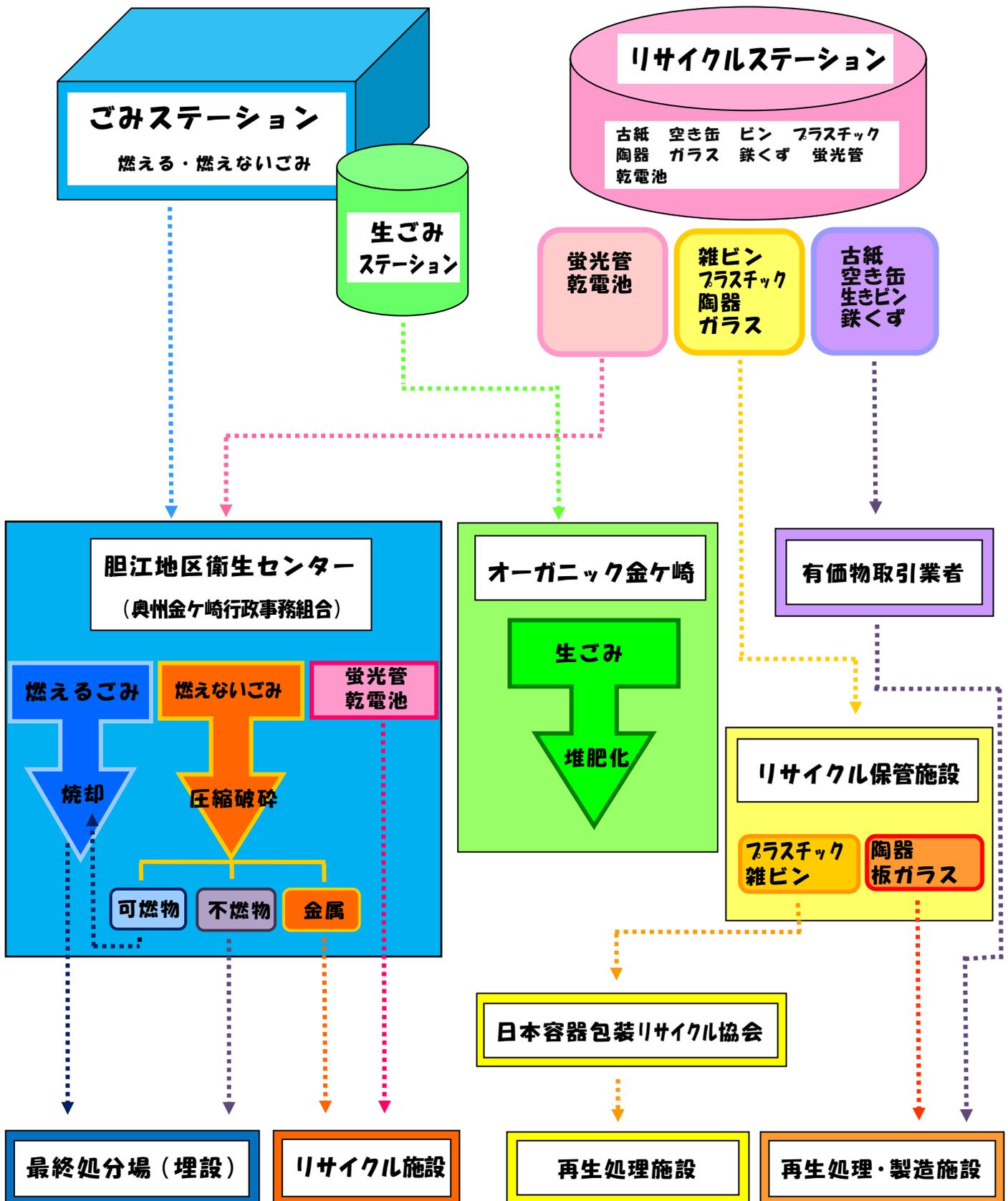
1人1日あたりのごみ排出量

(単位：g)



出典：岩手県資源循環推進課

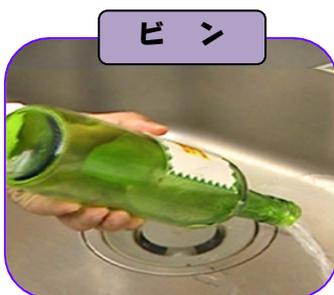
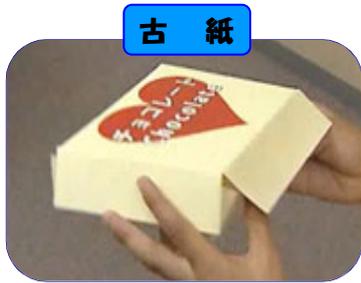
回収したごみ・資源物はどこへ？



※生きビン・・・ビール瓶

※雑ビン・・・一升瓶、ジュース・サイダー瓶、その他の瓶

リサイクル処理した資源物はどうなる？



3 生物多様性の状況

近年、生物多様性※⁸によりもたらされる自然の恵み(生態系サービス)は人類の存続に欠かせないものであることが再認識され、生物多様性保全の意識が国際的に高まっています。国内においても、2010年10月に愛知県名古屋市で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議」において「愛知目標※⁹」が採択された後、生物多様性への関心が急速に高まってきています。2008年には「生物多様性基本法」が施行され、2012年には「生物多様性国家戦略 2012-2020」が自然共生社会の実現に向けた具体的戦略として策定されています。

金ヶ崎町においても、「第9次総合発展計画」の中で「自然保護プロジェクト」を重点プロジェクトの一つとして位置づけ、平成27年3月、県下に先がけて、「生物多様性かねがさき地域戦略」を策定しました。

本戦略策定にあたり実施した生息調査等から、金ヶ崎町で生息・生育する動植物として、哺乳類15種、鳥類134種、両生類と爬虫類17種、魚類24種、昆虫類529種、淡水産貝類16種、植物762種が確認されました。



クマタカ



タナゴ



オミナエシ



カワシンジュガイ

これらの中にはブナ林などの森林環境にすむクマタカ、二次林にすむオオタカやフクロウ、ため池や水路にはキンブナ、タナゴ、ギバチなどの魚類、カワシンジュガイ、イシガイ、ヨコハマシジラガイなどの貝類、ゲンゴロウ、タイコウチ、オオムラサキなどの昆虫類など、希少種も少なくありません。植物についても、草地にはオミナエシ、スギ植林にはトンボソウなど、多くの希少種が確認されています。なかでも、カワシンジュガイは、金ヶ崎町の自然度の高さを象徴する生き物の一つです。

※⁸ 生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上のあらゆる生きものがお互いに関わりあいながら、生きている。

※⁹ 愛知目標

2050年までに「自然と共生する世界」を実現することをめざし、2020年までに生物多様性の損失を止めるための効果的かつ緊急の行動を実施するという20の個別目標。

このように、自然度が高い金ヶ崎町の生物多様性を保全し、維持するためには、課題もあります。

水路の暗渠化など田園環境の変化による生物多様性の低下や変質、在来の生きものの生息生育の脅威となる外来種の侵入・定着、地球温暖化による生態系、生息域への影響があります。

このような課題を踏まえながら、今後、次の取組みを実施していきます。継続した自然環境調査、自然観察会の実施、地区の将来に残したい資源（お宝）の保全、外来種の駆除など関係者と連携し、協力を得ながら進めていきます。

なお、この取組みの推進とともに、地球温暖化防止対策についても、重要な施策として取り組んでいきます。

金ヶ崎町でみられる生態系への影響が大きいとされる外来種



オオクチバス



アレチウリ



セイタカアワダチソウ



ボタンウキクサ

4 再生可能エネルギー導入状況

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、長期間にわたる停電とガソリン等の燃料不足をもたらし、エネルギーの重要性を現実のものとして体験させられる出来事でありました。

このため、早急なエネルギー安定供給の確保、特に地球温暖化問題へも対応する自然界で起こる現象から取り出すことができ、一度利用しても再生可能なエネルギーの利用拡大が急務となりました。再生可能エネルギー源を用いて発電された電気については、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることが義務付けられました。

種別	特徴	導入状況	導入公共施設	
電力利用	太陽光	太陽の光を受けた太陽電池は、直流の電気を発生させ、インバータで交流の電気に変えて、家庭などで使うことができる。 資源が枯渇する心配がなく、発電時にCO ₂ を出さないメリットがある。一方、夜間は発電できない課題がある。	金ケ崎町 12,873kw 岩手県 206,279kw	全小学校 中学校 町民菜園パーク
	風力	風の力で風車をまわし、その回転運動を発電機に伝えて電気をつくる方式。 資源が枯渇する心配がなく、発電時にCO ₂ を出さないメリットがある。一方、風車が回転する際に騒音が発生する課題がある。	金ケ崎町 -kw 岩手県 67,099kw	岩手県42施設
	水力	水が高いところから低いところへ落ちる時の力を利用して水車を回し、水車と直結した発電機で電気を起こす仕組み。 他の発電方式に比べて、CO ₂ の排出量が極めて少ない。	金ケ崎町 -kw 岩手県 276,001kw	—
	地熱	地中深くから得られた蒸気で直接タービンを回し発電する仕組み。 蒸気を発生させるのに化石燃料を必要としないため、CO ₂ の排出量がとても少ない。しかし、発電が始まるまでに長い時間がかかり、コストパフォーマンスが良くない。	金ケ崎町 -kw 岩手県 103,500kw	岩手県2施設
	バイオマス	木くずや燃えるごみなどを燃焼する際の熱を利用して電気を起こす方式。 資源の有効活用に繋がる。しかし、バイオマスはあちらこちらに分散していることが多いため、その収集と運搬作業にコストがかかりやすい。	金ケ崎町 -kw 岩手県 7,604kw	岩手県1施設
熱利用	熱エネルギーを集め、水や空気などの熱媒体を暖め給湯や冷暖房などに活用するシステム。	金ケ崎町 -kl 岩手県 27,939kl	—	

第3章 グリーンアクションのめざす姿

.....

温室効果ガス排出量を削減し、ごみの少ないまちの実現



目 標 温室効果ガス排出量を2025年度までに
町民1人あたり 30% 減らそう



グリーンアクション



地球温暖化対策のため、「町民一人ひとり」「事業者」「役場」などの各主体が、共通の認識を持ち、効果的に実践していくものです。

第4章 5つのグリーンアクション

アクション1

家庭やオフィスの省エネルギーや省資源をすすめよう

わたしたちの生活は、エネルギーの利用なくしては成り立ちません。日常生活のさまざまな場面で、二酸化炭素を排出しており、町民が1人一日あたり家庭から排出する二酸化炭素は、約9.3kg（平成20年度確定値による推計）です。

エアコンの設定温度を27℃から28℃に1℃上げると、1人あたり年間14.7kgの二酸化炭素が削減できます。

クールビズやウォームビズ、ゴーヤなどによるグリーンカーテンをうまく取り入れて、控えめな冷暖房の設定温度（夏は28℃、冬は20℃）を心がけましょう。

パソコン、テレビ等は主電源を切る、ごみのリサイクルなど一人ひとりの心がけでできる省エネ・省資源の取組を積極的に行いましょう。

事業所においては、省エネルギー型設備、物流や製造に係るエネルギー効率の向上に努めましょう。

アクション2

町民一人1日 70g(10%)のごみを減らそう

「もの」を大切にし、ごみにしない、ごみを出さない取組をすすめましょう。

町民一人1日あたり約700gのごみが家庭から排出されています。町民一人1日70gの生ごみを減らすと焼却処分により発生する二酸化炭素の排出量は、容積にして2Lペットボトル35本分削減することができます。

ごみのリサイクル、買い物ではマイバッグを持参する、過剰包装を断るなど、町民一人1日あたり家庭ごみ排出量の10%（70g）の削減を目指します。

アクション3

清掃活動に参加しよう

自治会、行政等が呼びかける清掃活動に積極的に参加しましょう。

まず、一人ひとりがごみのポイ捨てをしないことが一番大切です。ごみが落ちていない環境がきれいなまちをつくるだけではなく、動植物の生態系にもよい環境となります。

ごみが落ちていないきれいなまち「クリーンタウンかねがさき」を目指しましょう。

アクション4

自然とふれあい、水を大切に使い動植物をいつくしもう

金ヶ崎町は、自然豊かな水と緑の町です。生物多様性の高い優れた自然環境は、私たちにうるおいや安らぎをもたらすだけではなく、大気の浄化や気温上昇の抑制、二酸化炭素の吸収など多くの重要な役割を果たしています。その一方で、私たちは、日常生活や経済活動により自然環境に負荷を与えていることを忘れてはいけません。

一人ひとりが、自然のすばらしさを理解し、水を大切に使い、自然がもたらす恵みに感謝しましょう。

アクション5

資源を町内で循環させる地産地消をすすめよう

農業を基幹産業とする金ヶ崎町では、農産物の地産地消をすすめることが、輸送に伴って排出される二酸化炭素の排出抑制につながります。

地産地消という言葉の中には、「自分の住んでいる地域で作った農畜産物や、伝統食を食べる」という意味と同時に、「栄養価の高い旬のものを工夫して食べる」という意味も込められており、自分たちの健康を守ることにもなります。地産地消を少し進めると「適地適作」があります。

「適地適作」とは、土地が持つ風土に合った食物を自然に育てるという意味です。自然に育てるので無理がなく、エネルギー消費も少く栽培できます。

5章 各主体によるグリーンアクション

グリーンアクションの取組例を紹介します。

～町民編～

アクション1

家庭やオフィスの省エネルギーや省資源をすすめよう

- 待機電力を削減しよう
- 照明はこまめに消すとともに、テレビを見ない時は消しましょう
- エアコンの設定温度を夏は28℃、冬は20℃を目安に、フィルターの掃除も行いましょう
- 炊飯器や電器ポットで保温しておくより、直前にレンジで温めたり、沸かす方が経済的です
- 暖房便座や温水洗浄便座のフタを閉めましょう
- 洗濯は、お風呂の残り湯を活用しましょう
- 蛇口をこまめに閉めたり、シャワーの時間をちょっとだけ短くしてみよう
- 電化製品はよく手入れして長く使い続けるとともに、買い換え時には、省エネタイプのものを選ぼう
- 早寝早起きで、夜間の消費電力を節電してみよう
- ゴーヤやアサガオ等のグリーンカーテンを取り入れてみましょう
- 積極的に金ヶ崎産の野菜や米などを選んで食べましょう
- 公共交通機関や自転車を利用しよう

アクション2

町民一人1日 70g(10%)のごみを減らそう

○3R運動を実践しよう

「リデュース」：ごみを出来るだけ出さない生活

「リユース」：同じものを大切にくり返し使う生活

「リサイクル」：リデュースやリユースができないものもリサイクルで有効活用

○詰め替え商品を購入しよう

○マイバッグを持参しよう

○計画的な食料品の購入を心がけよう

アクション3

清掃活動に参加しよう

○自治会、行政等が呼びかける清掃活動に参加しよう

○ごみのポイ捨てはやめよう

アクション4

自然とふれあい、水を大切に使い動植物をいつくしもう

○自然観察会などのイベントに参加しよう

○身近なみどりの育成に取り組んでみよう

○過剰な動植物の採取はやめよう

アクション5

資源を町内で循環させる地産地消をすすめよう

○積極的に金ヶ崎産の野菜や米・肉などを選んで食べましょう

○自治会の「地域づくり計画」で将来に残したい資源（お宝）として掲げたゲンジボタルやミズバショウなどを守っていきましょう

○金ヶ崎で生産された商品、自動車等を購入しよう

○自宅で野菜や果物を栽培してみましょう

～事業者編～

アクション1

家庭やオフィスの省エネルギーや省資源をすすめよう

- 待機電力を減らそう
- エアコンの設定温度を夏は28℃、冬は20℃を目安にしましょう
- 人のいない部屋や廊下は、こまめに消灯しよう
- 階段を使おう
- 電化製品、OA機器の買い換え時には、省エネタイプのものを選ぼう
- アイドリングストップ、エコドライブを実践しよう
- グリーン購入を取り組もう
- 夏はクールビズ、冬はウォームビズで服装を工夫しよう
- ゴーヤ等のグリーンカーテンを取り入れてみましょう
- ノー残業デーの実践など、夜間の消費電力を減らそう

アクション2

町民一人1日 70g(10%)のごみを減らそう

- 3R運動を実践しよう
 - 「リデュース」：ごみを出来るだけ出さない生活
 - 「リユース」：同じものを大切にくり返し使う生活
 - 「リサイクル」：リデュースやリユースができないものもリサイクルで有効活用

アクション3

清掃活動に参加しよう

- 自社周辺のごみ拾いや草刈りなど環境整備を行いましょう
- ごみのポイ捨てはやめよう

アクション4

自然とふれあい、水を大切に使い動植物をいつくしもう

- 身近なみどりの育成に取り組んでみよう

アクション5

資源を町内で循環させる地産地消をすすめよう

- 積極的に金ヶ崎産の野菜や米・肉などを選んで食べましょう
- 金ヶ崎で生産された商品、自動車等を購入しよう

～役場編～

アクション1

家庭やオフィスの省エネルギーや省資源をすすめよう

- 昼休み、未使用会議室等、トイレ、フロア通路等の照明を消灯する
- 待機電力を削減する
- 室内温度を冷房については28℃以上、暖房については20℃以下とし、
運転時間は、午前8時30分から午後5時までとする
- クールビズやウォームビズを取り入れる
- エコドライブ講習会を開催し、エコドライブを実践する
- グリーン購入調達基準に基づき、環境に配慮した製品を購入する
- 就業時間を意識し、夜間の消費電力を削減しよう
- ノー残業デーを厳守する
- ゴーヤ等のグリーンカーテンを設置する
- 積極的に金ヶ崎産の野菜や米・肉などを選んで食べましょう

アクション2

町民一人1日 70g(10%)のごみを減らそう

- 町環境監視指導員によるリサイクル講座を開催し、職員の周知徹底を図る
- 役場、公共施設のごみ、リサイクル搬出日に、町環境監視指導員による「順調ですか？チェック」を行い、リサイクル率のアップを図る

アクション3

清掃活動に参加しよう

- クリーンオフィス月間を設定し、整理整頓、掃除、花を飾るなどきれいな環境で業務効率UPを実践する
- 自治会等が呼びかける清掃活動に参加しよう
- ごみのポイ捨てはやめよう

アクション4

自然とふれあい、水を大切に使い動植物をいつくしもう

- 環境保全、地産地消など環境行動が実践できるイベントを実施しよう
- 公共施設の環境整備を行う

アクション5

資源を町内で循環させる地産地消をすすめよう

- イベント開催は、金ヶ崎産の野菜や米・肉などを選んで消費しよう
- 金ヶ崎で生産された商品、自動車等を購入しよう

第6章 「ちょうみんグリーンアクションの日」

.....

6月1日

新緑が美しい季節となる6月。

萌え出て鮮やかとなる木々の緑、色とりどりの草花、緑一面の水田、雪解け水で澄んだ川、自然の美しさを感じる季節に環境のことを考えて、自分のグリーンアクションをしてみませんか。

町では、この指針とともに6月1日を「ちょうみんグリーンアクションの日」として、町民の皆様とともに環境にやさしい行動を実践していきたいと考えています。

第7章 ちょうみんグリーンアクション取組の公表

.....

毎年度、皆様に取り組んでいただいたグリーンアクションを紹介し、まずは、知っていただきたいと思います。そして、みなさんの知恵や取組をみんな活用していきましょう。

二酸化炭素排出量の動向、事業者の皆様がの技術や取組、役場の取組を公表し、削減目標を目指します。